公　表　理容職種　第57回大会用　　※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

第57回技能五輪全国大会「理容」職種　採点基準

１．採点項目及び配点

競技課題１　ファッションヘアカット＆カラー

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審　査　項　目	減　点
すべての毛髪に着色できていない １割できていない＝△１点　２割＝△２点　３割以上＝△３点	△１～３点
ウィービングやスライシングなどのテクニックを用いていない	△３点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している １箇所＝△１点　２箇所＝△２点　３箇所以上＝△３点	△１～３点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△１点

審査基準

１．アヴァンギャルドなスタイルではなく、ファッショナブルなスタイルであるかを見る。

２．技能五輪国際大会を意識した外国人のファッションカラーをイメージしたファッショナブルなヘアカラーであるかを見る。

３．時代性を取り入れたファッショナブルなスタイルであるかを見る。

４．トータルバランスが良いかを見る。

５．すべての毛髪に着色しているかを見る。

６．ウィービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを用いているかを見る。

公　表　理容職種　第57回大会用　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題２　クラシカルバック バリエーションヘア

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審　査　項　目	減　点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している １箇所＝△１点　２箇所＝△２点　３箇所以上＝△３点	△１～３点
ネックラインにシャープさがない ネックラインがゆがんでいる＝△１点　ネックラインがついていない＝△２点	△１～２点
後頭下部に色彩がない	△１点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△１点

審査基準

１．伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えているかを見る。

２．ネックラインはシャープで、男性的であるかを見る。

３．後頭部の色彩は横一文字で、幅広で十分に刈り上げているかを見る。

４．フロントのデザインを活かした効果的なカラーであるかを見る。

５．シルエットはスクエアラウンドであるかを見る。

６．３色以上のカラーであるかを見る。

公 表　理容職種　第57回大会用　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題３　写真とトレンドポジションに合わせたパーマヘア

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	写真と同様のデザインがトレンドポジションに合わせてニュアンスチェンジできているか	10	3
パーマ	トレンドポジションに合わせた流れや動きが表現されているか	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審　査　項　目	減　点
ロッドの跡がついている パーマ部分の１／３についている＝△１点 パーマ部分の２／３についている＝△２点 パーマ部分のすべてについている＝△３点	△１～３点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の１／３についている＝△１点 パーマ部分の２／３についている＝△２点 パーマ部分のすべてについている＝△３点	△１～３点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△１点

審査基準

１．写真に対し、よく理解されニュアンスチェンジしながら表現されているかを見る。

２．トレンドポジションをよく理解し、ニュアンスチェンジできているかを見る。

３．正面からの写真に合わせたファッショナブルでバランスの良いカット、スタイリングがなされているかを見る。

４．フィンガーセットによる美しいウェーブ・カール表現が出来ているかを見る。

５．トータルバランスが良いかを見る。

公　表　理容職種　第57回大会用　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題４　ストレートパーマ スタイルチェンジ（３つの要望）

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット	要望に合わせたカットの全体的印象	10	3
セット	要望に合わせたセットの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審　査　項　目	減　点
ストレートパーマがかかっていない Ｊカール＝△１点　Ｃカール＝△２点　Ｓウェーブ＝△３点	△１～３点
すべての髪にストレートパーマがかかっていない １割できていない＝△１点　２割＝△２点　３割以上＝△３点	△１～３点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△１点

審査基準

１．ストレートパーマがかけられているかを見る。

２．３つの要望に合わせたファッショナブルなスタイルであるかを見る。

３．ストレートパーマを活かしたスタイルであるかを見る。

４．トータルバランスが良いかを見る。

５．すべての髪にストレートパーマが施されているかを見る。

競技課題のウェートのかけ方

競 技 課 題	ｳｪｰﾄﾊﾞﾗﾝｽ
競技課題１　ファッションヘアカット＆カラー	0.3
競技課題２　クラシカルバック バリエーションヘア	0.3
競技課題３　写真とトレンドポジションに合わせたパーマヘア	0.2
競技課題４　ストレートパーマ スタイルチェンジ（３つの要望）	0.2

２．採点方法

(1)主観審査の方法

採点は下記のとおり審査項目ごとに 10 点満点制とし、所定の審査表により行う。

（参考）

10	Perfect	完璧	5	Weak	やや劣る
9	Excellent	すばらしい	4	Bad	悪い
8	Very good	非常に良い	3	Insufficient	不十分
7	Good	良い	2	Very bad	非常に劣る
6	Medium	まあまあ普通	1		

・最高点の 10 点は審査項目ごとに必ず１つつけ、９点以下は同点があってもよい。
・得点数が同点の場合は、競技委員主査の採点表の得点数でその順位を決定する。
・競技委員主査の採点表で同点の場合は、主査の採点表で優先する競技課題の得点差で決定する。

優先順位は次のとおり

第一優先：競技課題４　クラシカルバック バリエーションヘア
第二優先：競技課題１　ファッションヘアカット＆カラー
第三優先：競技課題３　写真とトレンドポジションに合わせたパーマヘア
第四優先：競技課題４　ストレートパーマ スタイルチェンジ（３つの要望）

(2)客観審査の方法

客観審査は減点方式で行う。

減点数は各競技委員の判断ではなく、全競技委員の確認のもとに決定し、各課題の主観審査の総合得点（100 点満点）から減点される。

(3)作業時間採点の方法

各競技課題に定められた作業時間を超えた場合、採点を行わない。

(4)作業態度採点の方法

加点はないものとし、他の競技者への妨害や迷惑をかけるなど、作業態度が著しく悪い場合は、競技委員の合議制で減点する。